

新木地区

「人のぬくもりと、森のやさしさが身近なまち」

- 新木地区は、地区北側の利根川や水田、南側に広がる手賀沼干拓による広大な水田に囲まれた地区で、近年では、土地区画整理事業が行われた新木駅の南側で新たな市街地の形成が進んでいます。地区内には障害者福祉センターなどの福祉施設が多く、それらを核としたコミュニティ活動が盛んに行われています。
- また、利根川沿いには市民体育館、利根川ゆうゆう公園があり、スポーツの拠点となっています。

人のつながりを深めるまちづくり

- この地区では、福祉施設と地区住民の手による福祉イベントの開催や、「あわんとり」などの特色ある地域の伝統行事、まちづくり協議会による世代間交流のイベントなど、地区の特徴を活かしたコミュニティ活動が展開されています。
- 新木地区は、新木駅の南北で人口動向が大きく異なり、駅北側の新木野地区では人口が減少傾向にあるとともに高齢化が進んでいます。
- 一方、駅南側の南新木地区には若い世代が多く住み、年少人口の割合は平成23年1月1日現在で26%を超えていて、地区内では新しいコミュニティが形成されています。
- 今後、新木駅南側地区の新たなコミュニティ活動への支援を図るとともに、ボランティア活動や地域のイベント・伝統行事などを通して地区南北の交流の輪が広がるよう支援していきます。

地区の主な施策展開

■新たな住宅地でのコミュニティと地区住民の交流づくり

- まちづくり協議会のコミュニティ活動への支援
- 南新木地区のコミュニティ活動への支援

地区の資源をいかし、にぎわいを生み出すまちづくり

- 地区の北側での宅地開発や南側での土地区画整理事業により樹林地や農地が減少しましたが、北側には利根川の水辺や水田、斜面林があり、南側には手賀沼干拓による広大な水田が広がっています。
- 成田街道（国道356号）沿いには菫不合（ふきあえず）神社周辺の森や良好なまち並みが残っています。
- また、この地区には、栗拾いが楽しめる観光農園が展開されているとともに、スポーツに親しめる市民体育館、利根川ゆうゆう公園や气象台記念公園など規模の大きい公園・施設が多くあります。
- 一方、新木地区は商業施設が少なく、特に、高齢化が進んでいる新木野地区では、日常生活に必要なものを身近な場所で揃えるには不十分な環境となっています。
- 今後は、地区の南北に広がる自然環境を保全するとともに、利根川ゆうゆう公園と气象台記念公園をレクリエーションやイベント、地域住民の交流の場として活用していきます。
- さらに、交通環境や買い物環境などの充実に向けた取り組みを進めていきます。

地区の主な施策展開

■ 自然環境の活用とスポーツによるにぎわいづくり

- 利根川の河川敷やその南側に広がる農地や斜面林など、多様な自然環境の保全と活用
- 利根川ゆうゆう公園の活用
- 气象台記念公園の整備・充実

■ 地区住民のくらしを支える買い物環境の充実

- 空き店舗の有効活用
- 宅配や移動販売など、地区の高齢化に対応した買い物環境づくり

安全で快適なくらしを支えるまちづくり

- 新木地区はJR成田線のほか、地区北側の住宅地内に市民バスが、成田街道(国道356号)には路線バスがそれぞれ運行しています。
- 新木駅の南側の地区は、地区計画を定め、計画的な住宅地の形成を進めています。
- 新木駅の北側の地区は、駅へのアクセスが脆弱であるとともに、地区拠点としての機能集積や基盤整備が行われていない状況です。
- また、新木野地区は開発時期が比較的古く、下水道施設など老朽化した都市基盤の改善が必要です。さらに、新木小学校の体育館は耐震性が確保されていないため、耐震補強工事を実施する必要があります。
- 今後も、地区の交通の利便性や住環境を向上させるため、JR成田線の輸送力の強化や利便性の向上に向けた働きかけを行うとともに、新木駅の自由通路の整備と駅南口・北口のエレベーター・エスカレーターの設置に取り組んでいきます。また、歩行者の安全を確保するため、下新木踏切の改善を進めます。
- さらに、新木小学校体育館の耐震化工事を実施し、子どもたちが安全に学習できる環境づくりを進めます。

地区の主な施策展開

■ 交通利便性の向上と、誰もが快適に移動できる環境づくり

- JR成田線の輸送力の強化と利便性の向上
- 根戸新田・布佐下線の整備促進
- 新木駅の自由通路の整備と駅南口・北口のエレベーター・エスカレーターの設置
- 新木駅構内のエレベーター設置への支援
- 下新木踏切の改善

■ 安全で快適に生活できる都市基盤整備の推進

- 新木駅南側(区画整理事業地内)での公園の整備
- 新木小学校の体育館の耐震化